



株式会社明治学院サービスは、
学校法人明治学院の100%出資会社です。
学校の周辺業務を事業化し効率的効果的な
各種サービスの提供を行い、
その収益を教育事業に還元することを
目的としています。

【主な業務内容】

◆人材派遣ビジネス

明治学院（明治学院大学、高等学校、中学校等）及び教育機関や他学校を中心に学校事務に特化した人材派遣を行っています。学校関連企業として相応しい質の高いサービスの提供に努めています。

◆明治学院白金チャペルでの結婚式

当事者のいずれかが、同窓生、現・元教職員、法人役員またはそれらの近親者の方であればお申し込みいただけます。本学はプロテスタントのキリスト教信仰を建学の精神としており、礼拝に準じる儀式としての挙式を行います。

◆学生総合保険・海外旅行傷害保険・火災保険・自動車保険（バイクを含む）・医療保険などの代理店業務を行っています。

◆白金校舎パレットゾーンの食堂・横浜校舎のインターナショナルカフェの運営管理をしています。

◆新入生、在校生に対するお部屋探し・住替えのご相談受付、明治学院大学女子寮「セブンレンス館」の運営管理をしています。

◆大学ロゴグッズ、バッハアカデミーのCD、自動販売機での飲料の販売をしています。



株式会社 明治学院サービス

〒108-0071 東京都港区白金台1-2-37
Tel 03-5421-1555 Fax 03-5421-1556
URL: <http://meijigakuin-s.co.jp/>

【お問合せ先】

明治学院同窓会事務局 〒108-8636 東京都港区白金台 1-2-37 TEL 03-5421-5190 (FAX 03-3441-0970) (事務取扱時間 9:00～16:00)
<http://meigaku-dosokai.jp>

コロナ禍に 負けるな

明学 STREET

Dosokai
Information

同窓会
インフォメーション

長引くコロナ禍で、観光業や外食業だけでなく多くの業種に影響が出ている中、同窓会では少しでもお役に立てないかと考え、「明治学院同窓会」のサイトの中に「明学ストリート」を開設いたしました。

今回は、その中からピックアップして紙面にてご紹介します。
ご興味湧きましたら、是非とも連絡をとってみてください。

「明学ストリート」には全部で40を超える仲間たちが「酒蔵」「旅館・ホテル」などのカテゴリーに分かれて掲載されています。どうぞご覧になってください。



明治学院同窓会



明学ストリート

それぞれ「明治学院同窓会」
「明学ストリート」で検索も可能です。

酒蔵



和田龍酒造株式会社

02 PICK UP MEIGAKU STREET

今 回のコロナ禍でアルコール業界は甚大な被害を受け、その波は造り酒屋である弊社にも押し寄せました。

その中で弊社を守ってくれたのは、日頃から信頼を寄せている酒販店はじめ取引先の皆様でした。

弊社は日頃から直販形式を重視しており、酒質に関して忌憚のないご意見をダイレクトに頂く分、逆にお褒めのお言葉を頂いた時はお世辞拔きの率直なご感想と素直に喜ぶ事ができる、お互いにリスペク

トし合える関係を育ませて頂いてきました。
そんな取引先の皆様が、コロナ禍で外食需要が激減している中にも関わらず定期的にご注文を下さったことがどれだけありがたかったか、そしてどれだけ励まされたか、その感謝の思いは計り知れませんが、その信頼に私が応えるには、ありきたりですが、飲み手の心を打つ「酒質の向上」に励むしかない、と改めて誓った次第です。



和田 澄夫 1988年経済学部卒
和田 直子 1988年文学部卒

〒386-0023 長野県上田市中央西1-14-14
TEL:0268-22-0461
<https://www.wadaryu.com/>



暮らし



田邊雄之建築設計事務所

03 PICK UP MEIGAKU STREET

弊 社は鎌倉駅西口から続く御成通り商店街に事務所を構えています。とはいえ現在プロジェクトは鎌倉以外の地に分散しています。東はテキサス、西はアテネ、南は小笠原諸島（父島・母島）、北はモスクワで住宅や集合住宅、ビルの改装や道場の計画等が進んでいます。



国内の住宅案件が数件中止や延期に追い込まれましたが、上記のように海外からインターネットの建築情報サイトや、はたまたインスタグラムを通して依頼が来ています。
幸か不幸かコロナによって、オンラインミーティングが世界中で普及したことにより、現地に赴くことなくプロジェクトが進行しています。しかし、建築とは周囲の環境や職人とのやり取り、現場での感覚もとても重要な要素です。プロジェクトが竣工する前にコロナ終息を願う日々です。

田邊 雄之 1998年仏文科卒

〒248-0012 神奈川県鎌倉市御成町5-25
TEL:0467-67-5810
<https://yuji-tanabe.com/>



特産品



渡辺パイル織物株式会社

01 PICK UP MEIGAKU STREET

渡 辺パイル織物は創業から50年近く「素材の良さを最大限に活かしたもののづくり」を続けています。使い始めた後のことまで考えられたタオルは、日常で使い続けても上質な風合いを保ち、触れるとふんわり穏やかな気持ちにしてくれます。
弊社のコロナ禍における主な取り組みとしては、「新商品開発」と「自社ECサイトの改修」です。新商品開発については、小売店の休業・時短営業等によりタオルの生産量が減少した



ため、稼働していない機械を利用して新商品の開発を行いました。自社オンラインサイトの改修については、既存の自社ECサイトをスマホ対応化することにより、閲覧・操作がしやすくなりました。ぜひご覧ください。
自宅ですぐす時間が増え、改めて暮らしに目を向けられた方も多いと思います。毎日使用するタオルだからこそ、少しでもタオルを通じて癒しのひと時をお届けできると嬉しいですが、厳しい時期が続きますが、皆で力を合わせて乗り越えましょう！

渡辺 文雄 2015年国際経営学科卒

〒794-0043 愛媛県今治市南宝来町2-8-1
TEL:0898-66-5108
<https://www.watanabe-pile.jp/>



BRANCH

支部紹介

毎号、全国・海外にある支部を順次ご紹介しています。今号は、青森県支部、京都府支部、東京品川支部です。
それぞれが情報交換の場として独自の企画・イベントを開き、皆さん楽しんでいらっしゃいます。



▶明治学院同窓会支部はこちら
https://meigaku-dosokai.jp/?page_id=5

02 東京品川支部

東京品川支部は、都内23区では大田支部について2番目の支部として、1998年7月4日の設立総会から、来年で25周年を迎えようとしています。これまで多くの方々のご指導、ご鞭撻、ご支援でなんとか、ここまでたどり着くことができました。しかしながら、昨今のコロナ禍の中、この1、2年は通常総会(会場総会)を開けず、変則的に通常総会に代わるかたちをとっております。2020年度は書面による総会、2021年度は動画配信のかたちによるビデオ総会と、コロナ禍にあっても工夫を凝らして運営しております。

この間、支部の余暇活動としては、春・秋の散策の中止や陶芸活動の休止、忘・新年会・カラオケ懇親会の中止と、事実上活動が停止している状態です。特に会員間の交流を深める散策活動は、草創期の故川添欣也副支部長の敷いたレールだけに、故人の遺志を考えると残念な思いです。また、同じく品川支部活動の2大支柱の一つである陶芸活動も伊東元同窓会長のご指導等で所属会員も増え、盛り上がりを見せておりましたが、やはりコロナ

禍の影響で、施設の休止等もあり、活動の制約を受けている状況です。ですが、唯一、会報制作の編集活動に関しては、役員一同、協力しあつて続けております。会報制作では、できるだけ多くの会員の声をとり上げるべく近況報告欄の充実をはかつてきましたが、コロナ禍の中、声を拾う機会を喪失しております。しかし、会報を読んで母校を懐かしく思う一般会員のかたもいらっしゃるべく明治学院に関連する記事をとりあげて編集しております。会報は支部と会員をつなぐ絆であるだけに、むしろこのままコロナ禍が続くのであれば、会報をさらに充実させ、年1回の発行にとどまらず、年2回発行も視野にいかれてもよいのではという声もある状況です。

来年は25周年の節目であり、役員改選の時期という巡りあわせの年です。ぜひとも会場総会の場で、会員の皆様の元気なお姿を拝見したいものであります。



大嶋 國枝
東京品川支部
(1966年 英文学科卒業)

03 京都府支部

京都府支部には現在180名の同窓会員が在籍しています。

北は日本海に面した丹後地区から、南は奈良県に接した南山城地区まで同窓生は広範囲に亘っております。

京都府下の大学数は34校、人口比で日本一の数を誇っておりますが、この様な環境の中で、明治学院の知名度は残念ながら高くはありません。今後とも継続した同窓会活動が必要です。

さて当支部では、総会と懇親会を毎年開催してきています。中田明前支部長時代から寺社の拝観、国立博物館の見学、鴨川の散策の他、京都らしいところでは床柱を始めた京都特産の北山杉の枝打ち作業見学等も取り合わせて開催しています。

ここ2年は新型コロナウイルス対応のため開催出来ておりませんが、今年こそ開催できることを強く願っています。



前原 利生
京都府支部
(1974年 法律学科卒業)

ご多分に漏れず当支部においても、多くの若い同窓生の参加を待ち望んでいるところです。在学中にお互いに面識はなくとも、この同窓会で学校やクラブ等の学生時代の話をしていると意外な接点があったりして、すぐに打ち解けて話が弾みます。同窓会を通じて新たな幅広い友人ができます。京都出身の方も、転勤で京都勤務になった方も積極的に参加してください。

人の輪が広がり、楽しみも京都愛も一層深まること必定です。

皆さん待っています！

01 青森県支部

青森県支部開設は昭和38年、全国でも古参の支部だと思っています。

天摩正太郎・菊池武正・三ツ谷武治・土藤久雄・瀬村忠司…地元経済界の静々たる方々(昭和10年〜37年頃)が名を連ねておりました。

高商時代の卒業生もおりましたが、すでに皆鬼籍に入られました。全国にも同級生がご健在であればうれしい限りです。

現在の会員数は290名弱、青森を中心に津軽地区・南部地区・下北地区に会員が分散しております。年に1度は校歌を唄おうを合言葉に絆を深めておりますが昨年、今年(2020〜21)はコロナの感染拡大治らず総会を中止いたしました。年々青森へ帰る卒業生(2021年4名)が減少する中、総会案内のお知らせは明治学院の近況を添えて会員全員に出し続けております。

毎年の総会では欠席者のコメントを披露、出席者は自分



の近況を発表するのが恒例です。ゼミ、クラブ、友、先生、学生時代に帰る時です。

「私はあの賀川先生の熱い講義を受けました。弱さを誇るひとりで。」

「私も校歌の通り雄々しく生きなければなりません。母の介護に挑戦です。」

明治学院らしい、しかし、力強い先輩達の心温まる声が会場を満たします。

コロナ禍の中、明治学院で何を学んだのか?と、今深く考える時を先輩達から与えられていると思います。

会員皆様のご健勝心よりお祈り申し上げます。



工藤 祐直
青森県支部
(1979年 法律学科卒業)

明学でいい友^{とも} Vol. 3

2021年4月からスタートした新企画「明学でいい友(とも)」。
毎回お二人の同窓生にご登場いただき、
在学中のこと、卒業してからのこと、そして現在のことを語っていただきます。

こんな生き方しています

伊妻 富士雄（76年経済学科卒）



小学校では、ミニ・バスケットクラブの指導に携わり、中学校ではバスケットボール部の指導に携わりました。特に中学校では、1年生の男子・女子チーム、2年生の男子・女子チーム、3年生の男子・女子チームの子ども達と、自分が学級担任としての子ども達と、フククラスの子ども目当に方向、運動、学習、生活指導を



ともに行っていました。総人数にすると100人以上の子どもと付き合いです。いろいろな子供と、一緒に活動して、失敗は多かったけれど、楽しかった。

先輩の誘いで始めた自転車の旅。夏休み、冬休みの部活計画のはざまに一人旅行に出ます。一番初めは冬の中山道へ。日本橋から、雪の峠を五つ越え、京都の灯かりを見たときは、涙、涙、涙。こんな旅行しなければと思いきや、それから自転車旅は続き、47都道府県は全部回らせてもらいました。心に伊能忠敬の「日本全図」にライバル心を持ち、松尾芭蕉の「奥の細道」の追っかけをやり、今や海外、22か国を回らせてもらいました。心に残るのはロシアのウラジオストークからシベリア鉄道に乗り、パリ、ロンドン、ベルファーストからアイルランドを一周した事、フランスのマルセイユからイタリア半島を縦断してシチリアまで行った事。ベトナム、ハノイからホーチミン市まで縦断した事。今は海外に出られませんが、(残念)そして旅行記をまとめ、一年に一度知人にくばらせてもらっています。そんな生き方しています。

次は小泉 京美さん(83年法律学科卒)に「たすき」を渡します。

夢は見るものではなく、叶えるもの

小泉 京美（83年法学部法律学科卒）



私の人生は、1979年に入学した明学からスタートと言えます。実は入学当初、上智大学への3年次編入を狙っていたのですが、正門付近で新歓イベントの体育会水上スキー部に「明学の水上スキー部の女子は強いから頑張れば日本一になれるよ」と、甘い言葉に誘われ「日本一」のタイトルに魅力を感じ入部。私の夢は一気に上智大から「日



本一になる」に変わりました。以降は明学水上スキー部に入学したかの如く4年の夏休みまで部活に明け暮れる日々。結果、女子優勝で「日本一」という夢を実現することが出来ました。一方、就活準備不足ながら「海外に行く機会を作って、いつか起業しよう」という夢から、女性が海外に行ける可能性のある日本航空の客室乗務員職を受験しました。面接では運よく水上スキーのことを聞かれ、幸運にも合格。JALでは日本人の海外旅行ブームなど航空会社の全盛期にCAとして世界中を回り、特に中東やブラジルなど多くの新興国の成長を感じたこと、外国人乗務員の教官としてバンコク駐在、また首相フライト特別乗務員など経験させて頂き、CAでなければ会えない一流のお客様との出会いなど、多くの貴重な体験がJAL27年間の私の財産です。40代で第2の人生の起業準備のため、仕事を続けながら立教大学大学院でMBAを取得、大学院では良き友人達にも恵まれました。博士課程後期に進み、新たなチャレンジとし



て大学教員のキャリアに方向転換し、現在は相模女子大学の大学教授としてキャリア形成と観光関係の授業を教えています。ゼミナールでは社会に通じる人材育成を目指し、毎年ゼミ生に各種コンテストや海外ボランティアに挑戦させ、11年間でゼミ生が60以上の賞を毎年受賞しています。昨年は自治体枠で東京2020オリンピック聖火ランナーとなり、今までの感謝の気持ちを多くの方々に伝えることが出来ました。5年前からは母校明学でも非常勤としてキャリア形成の授業を担当し、あらためて「Doforthers」の教えを実践しています。CA乗務では一期一会のサービスの魅力をも



味わい、教育現場では「夢は叶えるもの」と次世代の成長に関わる日々を過ごして楽しんでいます。私の大学時代を知る人が聞いたら、目を丸くして驚くと思います。もし上智に行っていたら全く別の人生を歩んでいたかもしれません。が、今のように楽しんでいたかは疑問です。人生100年時代「さて第3の人生は何をしようか」と、いま着々と計画中です。

次に同期の田島 幸雄さん(83年社会学科卒)にバトンを繋ぎます。